No. 6

タイ王国工業所有権情報センター協力事業
計画打合せ調査団報告書

1996年8月

国際協力事業団

タイ王国工業所有権情報センター協力事業
計画打合せ調査団報告書

１９９６年８月

国際協力事業団

序　　文

タイ政府は経済自立促進、経済基盤強化及び産業発展と民生の向上の両立を目指し、1991年10月から始まった第７次経済社会開発５か年計画の中で、タイにおける知的所有権体制の強化に力を注いでいる。

そのような背景を踏まえ、タイ政府は、商務省知的財産局の傘下にコンピューター化された工業所有権情報システムを有する工業所有権情報センターを設置し、同センターの活動を通して、商務省知的財産局の出願処理機能の強化、工業所有権情報への民間技術者のアクセス改善を目的として、わが国に対してプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

この要請を受けてわが国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1994年７月に事前調査団を派遣し要請の背景・具体的内容、プロジェクト実施へ向けてのタイ側実施体制の整備状況、協力の妥当性を調査し、その後、1995年１月から２月にかけて暫定的な工業所有権情報システム導入計画の策定、供与機材の選定、タイ側実施体制整備状況の確認等を目的とした長期調査員の派遣を経て、1995年４月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions；R／D）の署名を行った。

現在、同討議議事録に基づき、1995年７月１日から５年間にわたり技術協力を実施中である。

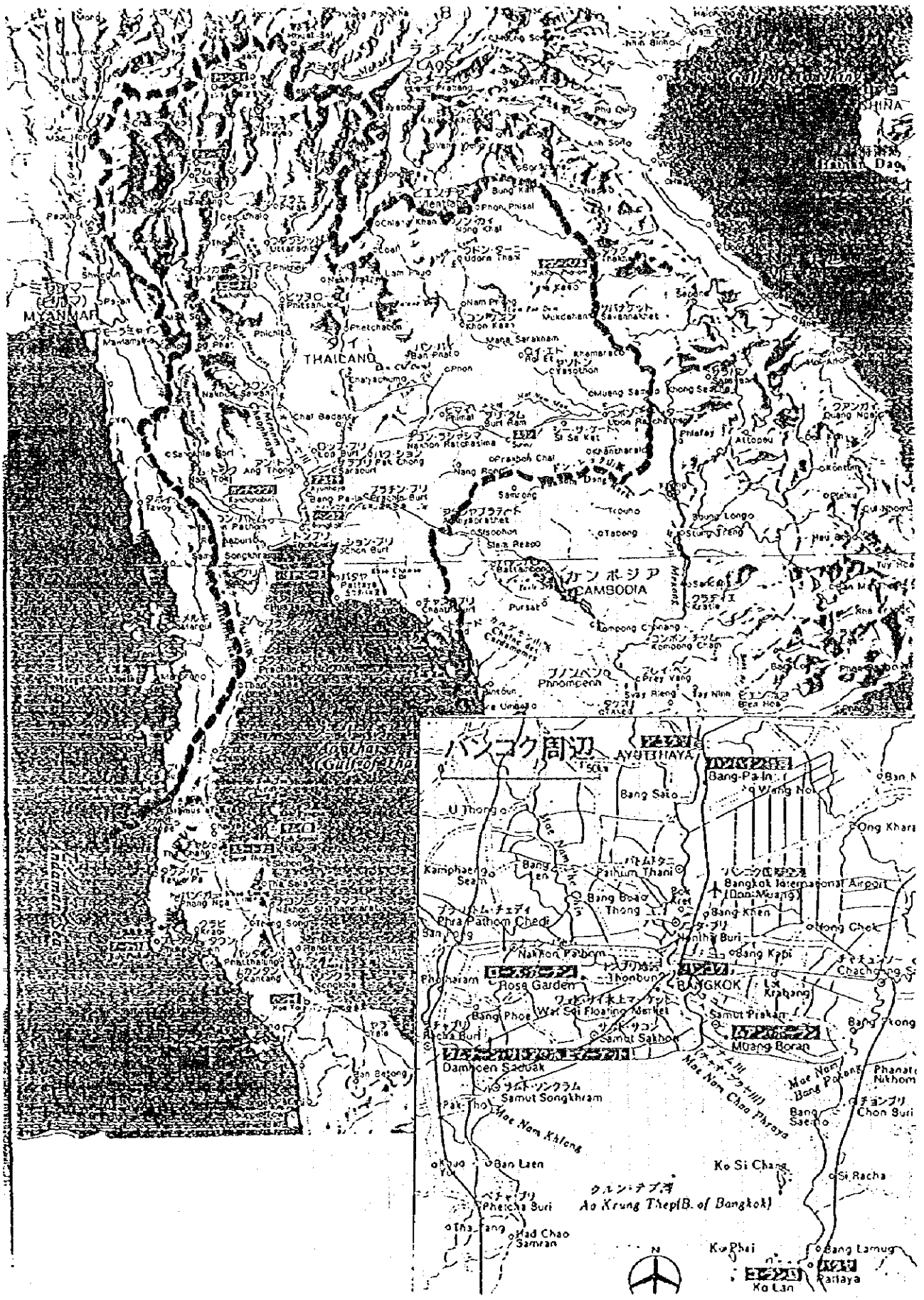
プロジェクト開始後約１年を経過した時点において、JICAはプロジェクトの進捗状況の確認及び今後のプロジェクト運営について日本側プロジェクト専門家チーム及びタイ側関係者と協議を行い、年次活動計画（Annual Work Plan）を策定し、かつ技術的な指導・助言をすることを主な目的として、1996年６月10日から６月19日まで計画打合せ調査団を派遣した。

本報告書は、同調査団の調査結果を取りまとめたものである。

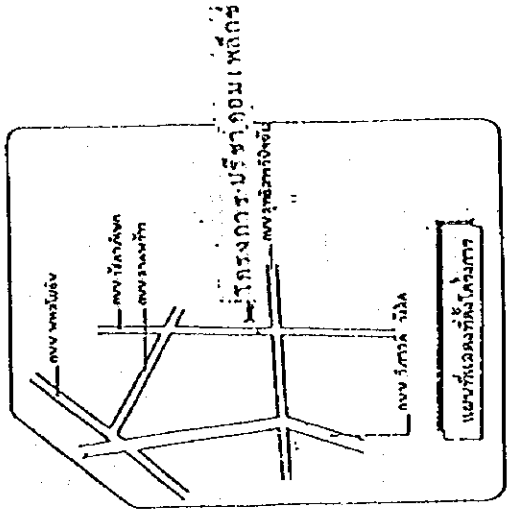
ここに本調査団の派遣に関し、ご協力いただいた日本及びタイ両国の関係各位に対し深甚の謝意を表するとともに、あわせて今後のご支援をお願いする次第である。

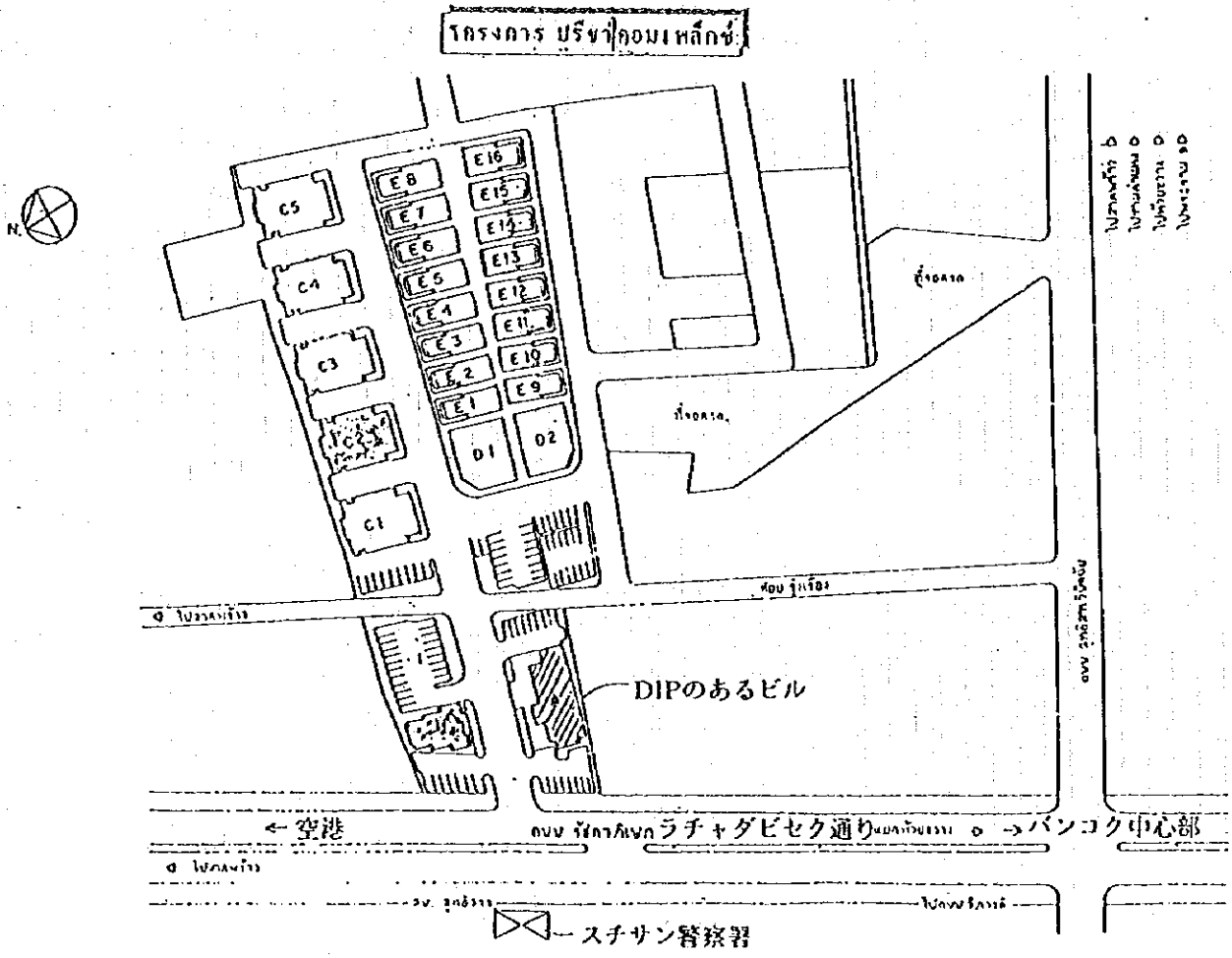
1996年８月

国際協力事業団
鉱工業開発協力部
部長　松澤　憲夫


LAOS
MYANMAR
THAILAND
カンボジア
CAMBODIA
Phnompenh
バンコク周辺
AYUTHAYA
Bang-Pa-In
Bangkok International Airport
(Don Muang)
Phra Pathom Chedi
Nakhon Pathom
Rose Garden
BANGKOK
Muang Boran
Damnoen Saduak
Samut Songkhram
Ko Si Chang
Si Racha
Ao Krung Thep(B. of Bangkok)
Pattaya
Ko Lan

プロジェクトサイトの位置図





目　　次

付属資料

1．計画打合せ調査団の派遣

1－1　調査団派遣の経緯と目的

近年、タイ国においては、第７次国家経済社会開発計画（1991.10～1996.9）において、海外からの技術移転、国内の技術発展を促進して、タイ製品の国際競争力を維持するために、「工業所有権保護強化」が、重要施策の一つとして位置づけられており、工業所有権の重要性が増している。

しかしながら、工業所有権分野においては以下の点が問題となっている。

① 特許権、商標権取得の出願件数が増加し、従来の人力による方法のみで処理を行うことが困難になりつつある

② 工業所有権情報は有用な技術情報であるが、これを技術者に提供するための有用なツールがない

このような状況下で、タイ国は、わが国に対して、同国において工業所有権行政全般を所管している知的財産局（DIP）内にコンピューター化された工業所有権情報システムを持つ工業所有権情報センターを構築し、同センターの活動を通して、DIPの出願処理機能の強化、工業所有権情報の公衆への普及を目的としてプロジェクト方式技術協力を要請越した。

この要請を受け、わが国は1994年７月に事前調査団、1995年１～２月に長期調査員を派遣して、タイ側の要請内容の把握、プロジェクト実施体制の整備状況調査などを行い、さらに、同年４月には、実施協議調査団を派遣し、Ｒ／Ｄの署名・交換を行い、本プロジェクトを開始した。

プロジェクト開始から、約１年を経過した現時点において、タイ側より、既存の特許審査事務処理システムと、本プロジェクトにおいて、技術移転を行っている特許情報検索システムとの融合に関する要望があり、日本側専門家チームとタイ側カウンターパート（Ｃ／Ｐ）との協議では長期専門家の１ないし２名の増員が必要との結論に達しているところ、プロジェクト開始後最初の調査となる今回の調査において、長期専門家の増員に関するＲ／Ｄの変更を含め、暫定実施計画、技術協力計画の見直しを行うこととする。

また、プロジェクトサイトの実施調査等を行うとともに、今後のプロジェクト実施のうえでの問題点について調査及び協議を行う。

1－2　調査団の構成

担　当	氏　名	所　　属
団長／総括	早福　宏理	通商産業省特許庁総務部電算機業務課　課長
技術協力計画	小嶋　一正	国内支援委員会 ((財)日本特許情報機構電算機室参事)
工業所有権情報	佐藤　智康	通商産業省特許庁総務部国際課地域政策　第1係長
プロジェクト運営管理	福島　浩司	国際協力事業団　鉱工業開発協力部　鉱工業開発協力課

1－3　調査日程

日順	日付	曜日	行程及び調査内容		
1	6月10日	月	午前	移動	
			午後		
2	6月11日	火	午前	DTEC表敬、JICAタイ事務所表敬訪問、在タイ日本大使館	
			午後		
3	6月12日	水	午前	長期専門家との打合せ	
			午後	DIP局長表敬、DIP協議	
4	6月13日	木	午前	DIP協議	
			午後		
5	6月14日	金	午前	DIP協議（変更R／D、M／D作成）署名・交換	
			午後		
6	6月15日	土	午前	資料整理	早福団長、佐藤団員帰国
			午後		
7	6月16日	日	午前	資料整理	
			午後		
8	6月17日	月	午前	DIP協議	
			午後		
9	6月18日	火	午前	TISI視察、在タイ日本大使館報告、JICAタイ事務所報告	
			午後		
10	6月19日	水	午前	小嶋団員、福島団員帰国	
			午後		

1－4　主要面談者リスト

（1）タイ側

商務省知的財産局（DIP）

Mr.Bangpot Hongthong	Director General
Mr.Narongsak Pitchayapanich	Deputy Director General
Mr.Vararak Chansamart	Deputy Director General
Mr.Surat Tansnawijitwongs	Director of Computer Center
Ms.Phinich Mathurapote	Director,Service & Information Division
Mr.Santi Rattanasuwan	Director,Examination 1 Division(Patent)
Mr.Somsak Panichayakul	Director,Registration & Document Division
Mr.Pichet Pentrakul	Head of Computer Center

技術経済開発局（DTEC）

Mr.Wichai Choowisetsuk	Programme Officer,Japan Sub-Division,External Cooperation Division 1
沼田　道正	技術協力調整

（2）日本側

在タイ日本大使館

東條　吉朗	二等書記官

JICA事務所

斉藤　祐巳	次長
小川　登志夫	所員

プロジェクトチーム

橋本　虎之助	チーフアドバイザー
丸山　智恵子	調整員
草野　正二	工業所有権情報
奥野　英幸	コンピューターシステム

2．暫定実施計画（TSI）の進捗状況と年次活動計画

調査項目	現状及び問題点	対処方針・調査内容	調査結果
2－1 日本側投入 2-1-1 専門家派遣 (1) 長期専門家	【1995年度実績】 5名 1)チーフアドバイザー 橋本95/7/1～ 97/6/30 2)業務調整 丸山95/8/7～ 97/8/6 3)工業所有権情報 草野95/12/2～97/12/1 4)コンピューターシステム 奥野96/2/17～98/2/16 【1996年度計画】 1ないし2名の増員を要望	・現地業務費の執行管理状況、帳簿類の調整状況、備品（携行機材）の管理簿等の確認を行う。 ・タイ側と協議を行い、変更R／Dにサインする。	・確認した。 ・必要性が確認され、変更R／Dにサインした。
(2) 短期専門家	【1995年度実績】 9名 1)工業所有権行政 高倉95/12/6～95/12/10 2)工業所有権行政 広沢95/12/6～95/12/10 3)特許審査 高橋96/2/19～96/3/10 4)特許審査 田口96/2/19～96/3/10 5)特許審査 小出96/2/19～96/3/3 6)コンピューターエンジニア 一平96/3/11～96/3/30 7)コンピューターエンジニア 長山96/3/18～96/4/4 8)コンピューターエンジニア 伊藤96/3/25～96/3/30 9)コンピューターエンジニア 長山96/4/22～96/5/11 【1996年度計画】 1)機材据付調整 （3名） 2)審査指導（特許） （1名） 3)審査指導（意匠） （1名） 4)セミナー講師 （2名）	・派遣の時期等について先方の要望を聴取する。	・派遣時期については、Annex Ⅸ参照。
2-1-2 研修員の受入れ	【1995年度実績】 工業所有権行政 4名 95/11/5～95/12/16 【1996年度計画】 工業所有権行政 4名	・受入れ時期について先方の要望を聴取する。	・8月に1か月間の研修を希望。
2-1-3 機材供与	【1995年度実績】 1)自国文献蓄積用サーバー 1式 2)サーバー周辺機器 1式 （スキャナー、プリンター等） 3)審査官用端末 5式 4)事務処理用端末 3式 5)LAN構成品 1式 6)ソフト 1式 （OS、アプリケーション） 7)自動車 1式 【1996年度計画】 1)端末用機器 22式 （審査官用、事務処理用、閲覧用、外部閲覧用） 2)ネットワーク構成用機材 1式 3)サーバーマシン用ソフト 1式 （OS、アプリケーション）	・据え付けに係るタイ側措置について確認する。 ・機材通関に関わる迅速な手続きを要望する。 ・タイ側及び長期専門家から要望を聴取し、その妥当性についてタイ側と協議する。	・すべての機材が問題なく据え付けられたことを確認した。 ・DTECに対し、迅速な手続きを要請した。 ・当初計画どおりの機材を供与することで合意された。

調査項目	現状及び問題点	対処方針・調査内容	調査結果
2－2 タイ側投入 2-2-1 建物建設等プロジェクトサイトの基盤整備	【1995年度実績】	・改善すべき点があれば申し入れる。	・改善すべき点はなかった。
2-2-2 機材措置・機材維持管理状況	1)機材購入 【1995年度実績】	・購入したものがあるかどうかを確認する。	・特になし。 （事務処理系の端末を新たに増設）
	【1996年度計画】	・1996年度タイ側の機材購入計画について聴取する。	・特になし。
	2)機材維持管理	・供与機材の利用及び維持管理状況について確認する。	・供与機材に関しては、通し番号を付け、帳簿により管理されていた。メンテナンスに関しても問題なし。
2-2-3 組織、C／P及びスタッフの配置		・管理台帳を用いているかどうか調査する。	
2-2-4 ローカルコスト負担	1)組織 ・組織は昨年の調査時と変更なし。 2)C／P及びスタッフの配置R／D時の計画では、システム開発、システム運行、データ管理、研修管理など各分野において人員を配置する予定である。	・R／D時の計画どおり配置されているか調査する。	・ほぼR／D時の計画どおり配置されていた。 (Annex V参照)
	【1995年度実績】 ・1995年度予算は、460千Bahtの予算であった。	・1995年度執行状況を確認する。 ・DIP全体の予算規模を把握する。	・計画どおり執行されていた。 (Annex Ⅶ参照)
	【1996年度計画】	・1996年予算を調査し、1995年度に比して増減のある場合はその理由を聞く。 ・DIP全体の予算を把握する。	・DIPの予算は約3億円 ・増減なく予算が執行される予定。
		以上の結果より、暫定実施計画について修正の必要性があるか否かをタイ側と協議し、結果をM／Dに記載する。	長期専門家の増員を含め、暫定実施計画の修正を行った。 (Annex I 参照)

3．技術協力計画（TCP）の進捗状況と年次活動計画等

調査項目	現状及び問題点	対処方針・調査内容	調査結果
3－1 技術協力計画	【1995年度実績】 ①外国特許文献データベースのプロトタイプシステムの導入 ②自国特許文献の蓄積システムの導入 ③工業所有権情報システムの基本設計 ④システム運行要員の訓練 ⑤端末操作要員の訓練 ⑥審査官の訓練 【1996年度計画】 ①自国特許文献データベースのネットワークシステムの導入 ②工業所有権情報システムの詳細設計 ③システム運行要員の訓練 ④端末操作要員の訓練 ⑤審査官の訓練	・技術移転の進捗度の評価の方法につき聴取する。 ・それぞれの小項目の達成度を数値的に把握する。 ・技術協力計画（TCP）について、修正の必要性があるか否かをタイ側と協議し、結果をM／Dに記載する。	・将来的には、端末の稼働率等のデータを取得できる予定。(現在、システム開発中) 技術協力計画に、修正を加えた。
3－2 PCM	・現在、PCMに関しては、タイ側と協議していない。	・PCMについて、タイ側と協議を行い、プロジェクトの現状を、PDMにまとめ、M／Dに添付する。	・PCMに関する協議を行うまでに至らなかった。

4．R／Dの変更

4－1　長期専門家の増員

現在、チーフアドバイザー、業務調整員、工業所有権情報、コンピューターシステムの各分野において計4名の長期専門家により技術移転が行われているが、行政・研修・普及計画等の分野における十分な対応ができていない。このため同分野に関し計1名ないし2名の長期専門家の増員の要請があった。

調査の結果、増員は妥当であるとの結論に達し、タイ側と協議のうえ、「研修・広報普及」の分野で1名の長期専門家を増員、派遣することが合意された。

4－2　R／Dの変更

上記、長期専門家の増員に関してR／Dを変更し、署名した。

また「LIST OF JAPANESE EXPERTS」の項に各分野の長期専門家の人数を各1名と記されていたところ、人数の指定をなくした。これにより今後は長期専門家の増員に際してそのつどR／Dを変更する必要がなくなった。

5．調査団所見

5－1　DIPの審査体制について

これまでDIPにおいては、独自の特許審査はほとんど行われておらず、外国出願については海外の審査結果をもとに審査し、国内特許に関してはオーストラリアの審査協力に依存している状態である。

しかしながら今年７月からオーストラリアの審査協力が終了することとなり、今後はDIPが自力で大半の審査を行わなければならない状況である。このため本プロジェクトによる特許情報検索システムの充実に期待が高まっている。

5－2　その他

今回の調査団派遣に際し、タイ側との協議・調査は順調に推移した。現地専門家とカウンターパート（C／P）との事前打合せが十分にできていることがうかがわれ、プロジェクトの順調さが実感できた。

付 属 資 料

1．修正討議議事録（R／D）
2．ミニッツ（M／D）

B

1．修正討議議事録（R／D）

THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE KINGDOM OF THAILAND
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON
THE INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION CENTER IN THE KINGDOM OF THAILAND

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hiromichi Sofuku, visited the Kingdom of Thailand from June 10 to June 19, 1996 in order to review the activities being conducted under the Project on the Industrial Property Information Center (hereinafter referred to as "the Project") and formulate further operational plans of the project.

In accordance with the Record of Discussions signed on April 27, 1995 in Bangkok (hereinafter referred to as "the original R/D"), the Team held a series of discussion and exchanged views with the Thai authorities concerned over the matters in relation to the number of Japanese long-term experts.

As a result of the above discussions, both the Japanese and Thai sides mutually agreed to recommend to their respective Governments that the list of Japanese experts (ANNEX Ⅱ) in the original R/D, be modified as shown in ANNEX attached hereto.

Bangkok, June 14,1996

Mr. Hiromichi Sofuku
Leader,
Consultation Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan

Mr. Banphot Hongthong
Director-General,
Department of Intellectual Property,
Ministry of Commerce,
The Kingdom of Thailand

ANNEX

LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Long-term Experts

(1) Chief Advisor
(2) Coordinator
(3) Expert in the computer system
(4) Experts in industrial property

2. Short-term Experts

(1) Experts in the computer system and information
(2) Supervisors for the installation and adjustment of the computer system for the Project
(3) Other experts necessary for the Project

2. ミニッツ (M/D)

MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE KINGDOM OF THAILAND
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON
THE INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION CENTER IN THE KINGDOM OF THAILAND

The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hiromichi Sofuku, visited the Kingdom of Thailand from June 10 to June 19, 1996 in order to review the activities being conducted under the Project on the Industrial Property Information Center (hereinafter referred to as "the Project") and work out the Annual Work Plan for the further development of the Project.

During its stay in the Kingdom of Thailand, the Team had a series of discussion and exchanged views with the Thai authorities concerned (hereinafter referred to as "the Thai side") with respect to updating the Tentative Schedule of Implementation and the Technical Cooperation Program, in accordance with the Record of Discussions signed on April 27, 1995 in Bangkok (hereinafter referred to as "the R/D").

As a result of the discussions, the Team and the Thai side agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, June 14,1996

Mr. Hiromichi Sofuku Leader, Consultation Team, Japan International Cooperation Agency, Japan	Mr. Banphot Hongthong Director-General, Department of Intellectual Property, Ministry of Commerce, The Kingdom of Thailand

THE ATTACHED DOCUMENT

1.Review of the Record of Discussions signed on April 27, 1995 in Bangkok (hereinafter referred to as "the original R/D"), Tentative Schedule of Implementation and Technical Cooperation Program

1.1 Master Plan

Both sides confirmed that the master plan attached to the original R/D was not to be modified.

1.2 Dispatch of the Japanese Experts

The Thai side requested that the following subjects be included in the field of technical transfer activities in addition to the present activities, to accomplish one of the project purposes, "enhancement of the examination ability of DIP".

(1) To unite the present office work processing system at DIP and the industrial property information system

(2) To enhance the technical transfer activities in the field of examination technique currently implemented by short-term experts

Having examined this request, both sides agreed to increase the number of long-term experts, and accordingly to revise the original R/D.

In view of the increase in long-term experts, the team requested that the activities of each long-term expert be re-examined, including the experts already at work in the Kingdom of Thailand, and the Thai side agreed to that.

1.3 Tentative Schedule of Implementation and Technical Cooperation Program

Both sides confirmed that the Tentative Schedule of Implementation be modified as shown in Annex Ⅰ and that the Technical Cooperation Program be modified as shown in Annex Ⅱ.

2.Review of the Activities of the Project from July 1995 to May 1996

2.1 Input by the Japanese Side

(1)Dispatch of the Japanese Experts

Four long-term experts and nine short-term experts were dispatched by the Japanese side as follows:

Name of Expert	Technical Field	Assigned Term		
(Long-term Expert)				
Mr. Toranosuke Hashimoto	CHIEF ADVISOR	Jul.1,1995	~	Jun.30,1997
Miss Chieko Maruyama	COORDINATOR	Aug.7,1995	~	Aug.6,1997
Mr. Shouji Kusano	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Dec.2,1995	~	Dec.1,1997
Mr.Hideyuki Okuno	COMPUTER SYSTEM	Feb.17,1996	~	Feb.16,1998
(Short-term Expert)				
Mr. Sigeo Takakura	INDUSTRIAL PROPERTY SYSTEM	Dec.6,1995	~	Dec.10,1995
Mr. Takao Hirosawa	INDUSTRIAL PROPERTY SYSTEM	Dec.6,1995	~	Dec.10,1995
Mr. Mitsunari Takahashi	PATENT EXAMINATION	Feb.19,1996	~	Mar.10,1996
Mr. Masahiro Taguchi	PATENT EXAMINATION	Feb.19,1996	~	Mar.10,1996
Mr. Susumu Koide	PATENT EXAMINATION	Feb.19,1996	~	Mar.3,1996
Mr. Tatsuya Ichihira	COMPUTER ENGINEER	Mar.11,1996	~	Mar.30,1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Mar.18,1996	~	Apr.4,1996
Mrs. Kiyomi Ito	COMPUTER ENGINEER	Mar.25,1996	~	Mar.30,1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Apr.22,1996	~	May.4,1996

(2)Training of the Thai Counterpart Personnel in Japan

Training of the Thai counterpart personnel in Japan were implemented as follows:

Name of Counterpart	Position	Training Item	Training Term
Mr. Vararak CHANSAMART	DEPUTY DIRECTOR GENERAL, DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	Nov.5,1995 ~ Nov.18,1995
Mr. Santi RATTANASUWAN	DIRECTOR OF EXAMINATION I DIV., DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	Nov.5,1995 ~ Nov.18,1995
Mr. Verasak MAIWATANA	HEAD OF IP INFORMATION SEC., DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Nov.5,1995 ~ Dec.16,1995
Mr. Somsak LIENGKAEWPRATUM	COMPUTER SYSTEM ANALYST, DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Nov.5,1995 ~ Dec.16,1995

(3) Provision of Equipment and Materials

The Government of Japan (hereinafter referred to as "the Japanese side") provided the following equipment and materials to the Thai side.

The list of the equipment and materials is shown in Annex Ⅲ.

① Server for Domestic Patent Document Database

② Search Terminals for Patent Examiner

③ Terminals for Clerical Work

④ Uninterrupted Power Supplier

⑤ PC and Image Scanner for Data Capturing of Domestic Patent Documents

⑥ Operating System and Application Software Packages

⑦ Vehicle

2.2 Input by the Thai Side

(1) Renovation of the Project Site

DIP completed the renovation works at the Project site.

The present layout of the Project site is shown in Annex Ⅳ.

(2) Operation and Maintenance of Equipment and Materials

Maintenance of all equipment and materials were started by Thai counterpart personnel with Japanese expert's advises and guidances.

(3) Allocation of Personnel for the Project

DIP allocated the counterpart personnel, administrative staff and supporting staff for the Project as shown in Annex Ⅴ.

The team appreciated the great efforts of the Thai side in allocating personnel for the Project.

(4) Organization

Organizational chart is shown in Annex Ⅵ.

(5) Allocation of the budget for the Project

DIP allocated the budget for renovation work and running expenses of the Project in 1995 as shown in Annex Ⅶ.

2.3 Output of the Project

(1)Technology Transfer

Technology transfer from the Japanese experts to the Thai counterpart personnel was implemented mainly through on the job training.

The items of technology transfer from July 1995 to May 1996 are as follows:

①Introduction of prototype system of foreign document database

②System for accumulation of domestic patent documents

③Fundamental design for industrial property information system

④Training for system operation staff

⑤Training for terminal operators

⑥Training for examiners

(2) The Special Seminar

The outline of the special seminar is shown in Annex Ⅷ

3. Discussion of Work Plan from June 1996 to March 1997

3.1 Input by the Japanese Side

(1)Dispatch of the Japanese Experts

a. Long-term experts

In accordance with the re-examination of the activities of each Japanese long-term expert, (see the descriptions of 1.2), both sides confirmed that long-term experts in the following fields would be dispatched.

① Chief Adviser	(Dispatched in July 1995)
② Coordinator	(Dispatched in August 1995)
③ Industrial Property (Information System)	(Dispatched in December 1995)
④ Computer System	(Dispatched in February 1996)
⑤ Industrial Property (Training and Dissemination)	(intended to dispatch in August 1996)

The Thai side expressed that A-1 forms for the long-term experts [industrial property (training and dissemination)] were to be submitted to the Japanese Embassy in Thailand through DTEC by the middle of July, 1996.

b. Short-term experts

The Thai side requested the dispatch of experts in 1996 Japanese Fiscal Year as follows:

① Installation, Adjustment & Operation (3 persons)

② Examiner (patent)

③ Examiner (design)

④ Seminar Lecturers (2persons)

(2) Training of the Thai Counterpart personnel in Japan

Both sides confirmed that training of the following Thai counterpart personnel in Japan would be implemented.

Name of Counterpart	Position	Training Item	Training Term
Mr. Vichaya Wangpakapattanawong	COMPUTER SYSTEM ANALYST, DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	1 month in August
Ms. Tharistree Plubpla	COMPUTER SYSTEM ANALYST, DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	1 month in August
Ms. Wachara Chamnanwong	HEAD OF PERSONNEL SEC., DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	1 month in August
Mr. Kananusorn Theingthrakool	LEGAL OFFICE	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	1 month in August

(3) Provision of Equipment and Materials

The Thai side requested the following equipment and materials for the efficient implementation of the Project.

The team stated that the Japanese side would provide necessary equipment and materials based on the request of the Thai side within the limit of the budget for the Project.

① Search Terminals for Patent Examiner
② Terminals for Clerical Work
③ Terminals for In-house Document Center
④ External Terminals for Public Inspection
⑤ Local Area Network
⑥ Operating System and Application Software Packages

3.2 Input by the Thai Side

(1) Allocation of Personnel for the Project

DIP has a plan for the allocation of the counterpart personnel, administrative staff and support staff for the Project as shown in Annex V.

(2) Allocation of the Budget for the Project

DIP expresses the plan for the allocation of the budget (1996-2000) for the Project as shown in Annex VI.

The Japanese side requested that sufficient budget for running expenses of the Project be secured, and the Thai side stated that it would make an effort to do so.

3.3 Annual Work Plan

Both sides jointly made the Annual Work Plan from June 1996 to March 1997 as shown in Annex IX.
Technology transfer of the Project will be implemented according to this Annual Work Plan.
The special seminar of the Project will be held in December 1996.

4. Others

4.1 Joint Coordinating Committee

The Joint Coordinating Committee meeting for the Project was held on March 29, 1996 at the Dip Headed Office in Bangkok for the smooth implementation of the Project.
The Participants and Contents of the Joint Coordinating Committee meeting are shown in Annex X.

4.2 Future Plan for the Industrial Property Information System

Both sides recognized that further development of the Industrial Property Information System would be very important.

DIP reiterated its strong wish for further Japanese support for the Project.

Annexes

Annex I	Modified Tentative Schedule of Implementation.
Annex II	Modified Technical Cooperation Program for the Project
Annex III	List of the major equipment and materials
Annex IV	Layout of the Project
Annex V	Allocation of personnel for the Project (Actual & Plan)
Annex VI	Organizational chart
Annex VII	Allocation of the budget for the Project (Actual & Plan)
Annex VIII	Report on the Special Seminar
Annex IX	Annual Work Plan (from June 1996 to March 1997)
Annex X	List of participants and Contents of Joint Coordinating Committee

Annex I Tentative Schedule of Implementation

Japanese Fiscal Year	1994			1995				1996				1997				1998				1999				
Calender Year	1994			1995				1996				1997				1998				1999				2000
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1
Term of Technical Cooperation																									
Japanese Side																									
1.Dispatch of Survey Team																									
(1)Preliminary																									
(2)Expert Survey																									
(3)Implementation																									
(4)Consultation																									
(5)Technical Guidance																									
(6)Consultation																									
(7)Evaluation																									
2.Dispatch of Long-term Experts																									
(1)Chief Advisor																									
(2)Coodinator																									
(3)Computer System																									
(4)Industrial Property (Information System)																									
(5)Industrial Property (Training and Dissemination)																									
3.Dispatch of Short-term Experts	(Short-term Experts may be dispatched in Accordance with necessity.)																								
(1)Industrial Property System																									
(2)Patent Examination																									
(3)Computer Engineer																									
4.Thai Counterpart Training in Japan	(Appropriate number of couterpart personnel may be acceptable annually.)																								
(1)Industrial Property Information Administration																									
(2)Industrial Property Information System																									
5.Provision of Machinery and Equipment																									

Annex I Tentative Schedule of Implementation

Japanese Fiscal Year	1994				1995				1996				1997				1998				1999				
Calender Year	1994				1995				1996				1997				1998				1999				2000
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1
Thai Side																									
1.Reformation of the DIP for Center																									
2.Other reformation of Project Site																									
3.Measures to be taken relative to Equipment and Materials																									
4.Subject to the Agreement between Thailand and Japan																									
5.Allocation of Counterpart Personnel and Staff																									
6.Budget Allocation																									

Annex II Tentative Technical Cooperation Program

CALENDER YEAR	1995	1996	1997	1998	1999	2000
THAI FISCAL YEAR	1995	1996	1997	1998	1999	2000
JAPANESE FISCAL YEAR	1995	1996	1997	1998	1999	2000
TERM OF PROJECT						
1.INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION RETRIEVAL AND SUBSTANTIAL EXAMINATION	①Foreign patent document retrieval using CD-ROM ②Other application packages	①Foreign patent document retrieval using CD-ROM ②Other application packages ③Domestic patent document retrieval system via Network	①Domestic patent document retrieval system via Network	①Japanese patent document system via Network	①Retrieval system for patent documents of other countries via Network	
2.SYSTEM DEVELOPMENT	①Training in Japan ②Fundamental design of industrial property information system	①Training in Japan ②Detailed design of industrial property information system ③Image capturing system for domestic patent documents ④Retrieval system for domestic patent documents ⑤Extension service to MOSTE ⑥Fundamental design of joint system between existing system and new system to be transferred by the Project ⑦Design for user interface	①Training in Japan ②Development of industrial property information system limited to Japanese patent document ③Extension of services to the branches of Ministry of Commerce ④Detailed design of joint system between existing system and new system to be transferred by the Project ⑤Extension of system functions for user interface	①Extension of system functions to documents of other countries (if possible)	①Extension of other system functions (if possible)	
3.SYSTEM MANAGEMENT ①SYSTEM OPERATION ②SYSTEM MAINTENANCE ③DATA MANAGEMENT		①System installation of server for domestic patent documents ②System operation of image capturing system for domestic patent documents ③Data management for domestic patent documents ④Hardware maintenance report management ⑤Trouble shooting and recovering	①System installation of Ethernet for domestic patent documents ②Data management for Japanese patent documents information ③Trouble shooting and recovering of Network ④Announcement of trouble to terminal users	①System installation of industrial patent information system ②Data management for patent documents information of other countries		
4.MANAGEMENT OF CENTER	①Organization of center	①Making regulations for center operation	①Making regulations for terminal operation	①Analysis and evaluation of accounting data ②Inventory control		
5.CENTER ACTIVITIES		①Training in terminal operation for industrial property information system to public	①Training in terminal operation for industrial property information system to public	①Training in terminal operation for industrial property information system to public		

Annex III-1 List of the equipment and materials

No.	ITEM		QUANTITY
I	Express5800/150 Hardware		
1	N8500-90	CPU Unit	1
2	N8502-15	CPU Unit	1
3	N8502-13	CPU Unit	1
4	N7744-94	Magnet Disk Unit	1
5	N8550-05	Magnet Disk Unit	2
6	N8506-07E	M150	1
7	N7833-03	101 Keyboard (English)	1
8	K209-80(04)	AC Cable (200V)	1
9	N7833-05	MOUSE	1
10	K210-10(04)	Printer Cable	1
11	K210-26(00)	SCSI Cable	1
12	K208-35(01)	SCSI Cable	1
13	N8504-02	10 BASE 5 BOARD	1
14	N8503-08E	Disk Alley Controller	2
15	N8590-02	Disk Extended Unit	2
16	N8550-05	FDD	8
17	K208-31(01)	SCSI Cable	2
18	N8522-07	D A T	1
19	K210-16(00)	Cable	1
20	K209-93(01)	Cable	2
II	Express5800/150 Software		
21	UL002-105	MS-Windows NT Server Ver3.51	1
22	UL002-104	MS-Windows NT Server Ver3.51(20 CAL)	2
23	UL1004-010	ARCserve 1.0 for Windows NT	1
24	UL1007-001	ARCserve Changer Option 1.0 for Windows NT	1
25	UL1005-101	Express Server System Manager Ver1.1	1
26	UL1200-101	SORTKIT Ver2.0	1
27		AP9009 PowerChute+ for Windows NT	1
III	Server Manual (Japanese)		
28	UL9002-101	MS-Windows NT Server Ver3.51	1
29	UL9004-001	Express 5800 Series Windows NT	1
30	UL9100-101	Express 5800 Series Windows NT	1
31	UL9011-101	Express 5800 Series Windows NT	1
32	UL9300-101	MS-SQL Server Ver6.0	1
33	UL9310-001	Oracle Server	1
34	UL9310-004	Oracle Pro*C	1
IV	P C Manual		
35	TP1-07136302	MS-Windows Ver3.11	1
36	TP1-07136006	MS-Word Ver6.0	1
37	TP1-07136009	MS-Access Ver2.0	1
38	TP1-07136002	MS-Excel Ver5.0	1
39		MS-Mail Ver3.5	1
40	TP1-07136005	MS-PowerPoint	1
41		PC/TCP	1
42		MS-Visual C++ Ver2.0	1
43		MS-Visual Basic Ver2.0	1
V	Aplication Software for Operating System of Patent Document		1 set

Annex III -2 List of the equipment and materials

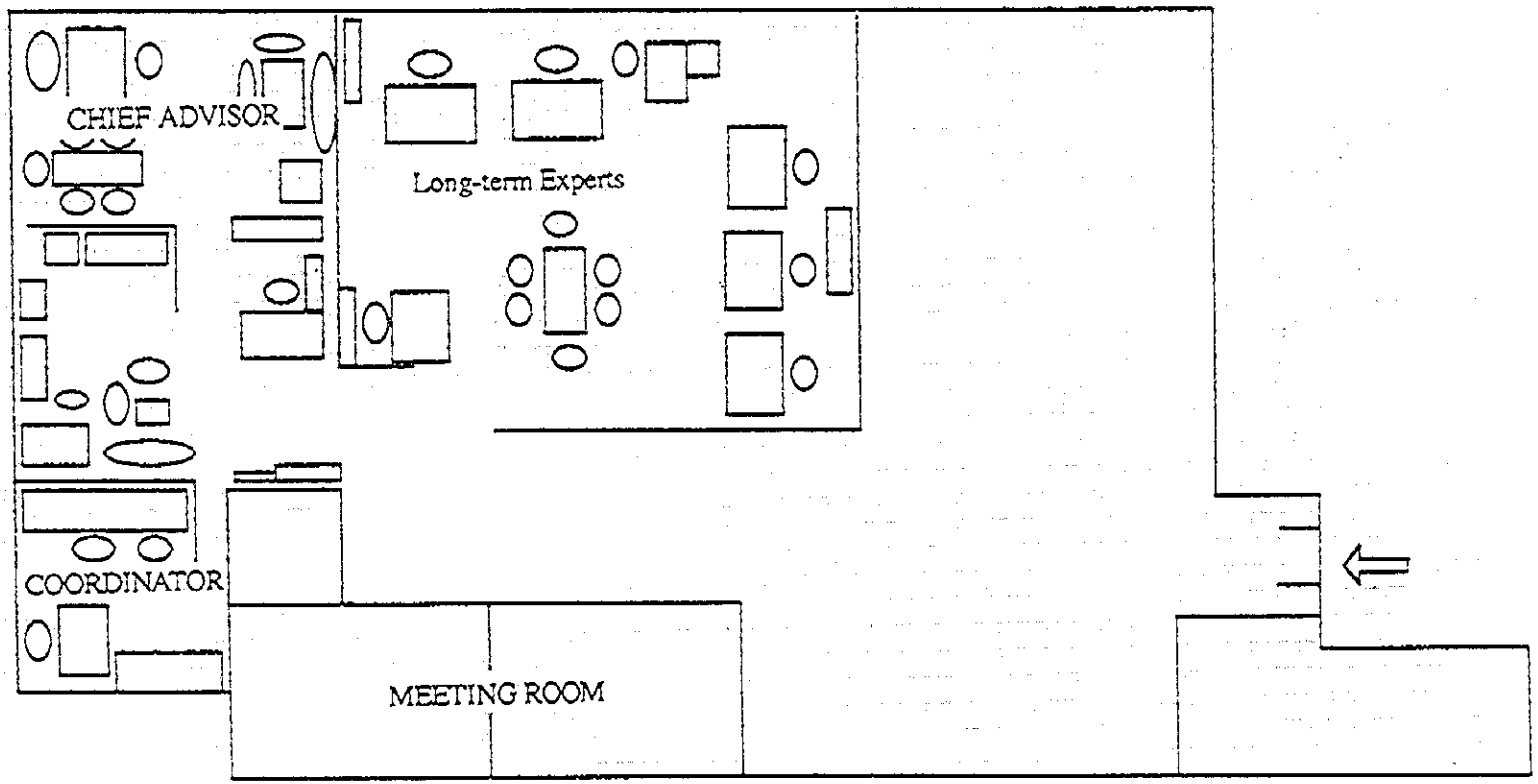
No.	ITEM		QUANTITY
VI	PC CLIENT TYPE 1		
1		Powermate V100(Pentium 100MHz)	5
2		-36MB Memory, 265 KB Cache	5
3		-1MB VRAM, 540 MB HDD(IDE)	5
4		-FDD1×3.5" 1.44MB	5
5		-FDD1×5.25" 1.2MB	5
6		-Standard Keyboard(Thai), Mouse	5
7		-MS-DOS Ver6.22(Thai)	5
8		-MS-Windows Ver3.11(Thai)	5
9	JC-1734VMB	-Multisync XV17 17" Res. 1024×768	5
VII	PC CIENT TYPE 2		
10		Powermate V100(Pentium 100MHZ)	3
11		-36MB Memory, 265 KB Cache	3
12		-1MB VRAM, 1.0GB HDD(SCSI)	3
13		-FDD1×3.5" 1.44MB	3
14		-FDD1×5.25" 1.2MB	3
15		-Standard Keyboard(Thai), Mouse	3
16		-MS-DOS Ver6.22(Thai)	3
17		-MS-Windows Ver3.11(Thai)	3
18		-Multisync XV17 17" Res. 1024×768	3
VIII	Peripheral Equipment for Express 5800		
19		Multisync XV17 17" Res. 1024×768	1
20		NEC CD-ROM(4X) Internal	8
21		16 bit ISA with RJ-45, AUI and BNC	3
22		HP LaserJet 5SiMX 600×600 dpi, 24 PPM(A4)	9
23		HP ScannerJet 4c	3
24		Interface Adapter Kit for IBM/ISA	3
25		Automatic Document Feeder(50 pages)	9
26		1.25 KVA APC UPS	1
IX	LAN EQUIPTION		
27		8 port RJ 45 Micro HUB	3
28		CISCO 2500 Dual EtherNet/Dual Hub	1
29		CISCO 2500 IOS IP/IPX Feature Set	1
X	CABLING		
30		4mm" THW	300
31		DIA 1/2" Flexible Conduit	50
32		DIA 3/4" Flexible Conduit	150
33		OUTLET(WN-1592)220V	18
34		Plate Cover	18
35		Single Cable(#5 UTP Cable)	100
36		Single Cable(Thick Cable)	170
37		Wire Way PVC 23-323	90
38		Trainsciver Cable(5m)	3
39		Trainsciver Cable(10m)	3
40		Piercing Tap Transciver(ISOLAN)	6
41		N-Series Connector	2
42		N-Series Terminator	2
43		PVC Box	21
44		MISC & Accessorries	1
45		Service	1

Annex III -3 List of the equipment and materials

No.	ITEM		QUANTITY
XI	Software		
46		MS-DOS V6.22(English) included in CPU	1
47		MS-Windows V3.11(English)	1
48		MS-Office for Win V4.3 Pro English Full Psck	1
49		MS-Office for Win V4.3 Pro Thai	8
50		MS-Mail PC Server V3.5(English)	1
51		MS-Mail 5 Users Additional Package	2
52		MS-Visual Basic V4.0 for Win (CD-ROM)	1
53		PC/TCP(MS-Windows V3.11 TCP/IP)	8
54		MS-Visual C++ V2.0(Intel)	1
55		MS-Access for Windows 2.0 Developer Toolkit	1
56		MS Access for Windows 2.0 Solution Pack	1
57		MS-System Management Server V1.0	1
58		MS-System Management Server V1.0(20 users)	1
59		MS-SQL for NT Server V6.0(CD-ROM)	1
60		MS-SQL for NT Server V6.0(20 Users)	1
61		MS-SQL Workstation Ver6.0 for NT(CD-ROM)	1
62		ORACLE 7 Server for Windows NT(16)	1
63		ORACLE Distributed Option(16)	1
64		OPEN/IMAGE Custom Control for Visual Basic R2.0	1
65		OPEN/IMAGE Runtime module	2
XII	Manual		
66		MS-Word Ver6.0(Thai)	1
67		MS-Access Ver1.1(Thai)	1
68		MS-Office for Windows Ver4.3 Pro(Thai)	8
69		MS-Visual C++ Compiler for Windows Ver2.0(Thai)	1
70		Access Development Toolkit(Thai)	1
71		Access Solution Pack(Thai)	1
72		MS-Mail Ver3.2(Thai)	8
XIII	Vehicle		1

Annex IV Layout of the Project

Industrial Property Information Center 9th Floor



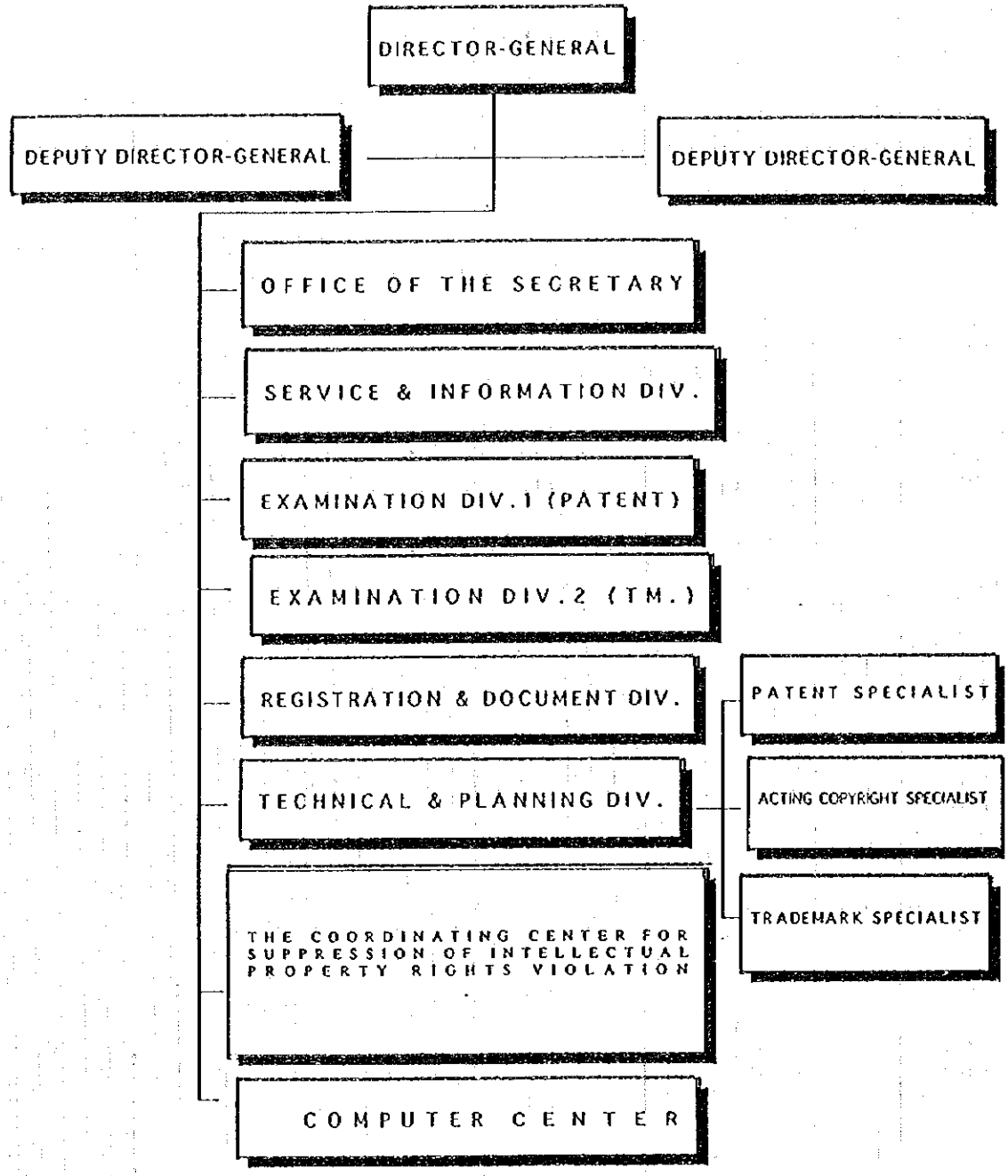
Annex V Allocation of personnel for the Project (Actual & Plan)

Calender Year	1995	1996	1997	1998	1999	2000
Japanese Fisical Year	1995	1996	1997	1998	1999	2000
	I II III IV	I II III IV	I II III IV	I II III IV	I II III IV	I II
Thai Fisical Year	1995	1996	1997	1998	1999	2000
Project Director	1	1	- -	- -	- -	- -
	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
Project Manager	1	1	- -	- -	- -	- -
	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
Administrative Staff	1	1	- -	- -	- -	- -
	1 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
System Developement Staff	1	1	- -	- -	- -	- -
	1 (0)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)
System Operation Staff	2	2	- -	- -	- -	- -
	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
Data Management Staff	1	1	- -	- -	- -	- -
	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
Training Management Staff	1	1	- -	- -	- -	- -
	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
Other Staff of Center	3	3	- -	- -	- -	- -
	0	0	4	4	4	4
Total of Center Staff	4	4	- -	- -	- -	- -
	4 (0)	10 (4)	16 (7)	16 (7)	16 (7)	16 (7)
Patent Examiner	16	16	- -	- -	- -	- -
	15	20	20	20	20	20

Up side: Actual in June, 1996
Down side: Plan in the R/D

Annex VI

ORGANIZATION CHART
DEPARTMENT OF INTELLECTUAL PROPERTY



Annex VII Allocation of the budget for the Project (Actual Plan)

(Unit: Million Baht)

Thai Fiscal Year / Budget Item	1995	1996	1997	1998	1999	2000
Reformation of the Project Site	0.22	0.18	–	–	–	–
	0.15	0.15	0.35	0.1	0.15	0.2
Expenses related to Machinery and Equipment	0	0.14	–	–	–	–
	0	0.3	1.7	4.2	7.6	10.4
Installation of Machinery	0	0.14	–	–	–	–
	0	0.3	0.2	0.2	0.2	0
Maintenance of Machinery	0	0	–	–	–	–
	0	0	1.5	4	7.4	10.4
Managing Expenses	0.3	3.8	–	–	–	–
	0.31	7.54	8.2	9.44	4.58	4.18
System Running Cost	0	2.85	–	–	–	–
	0	5.7	6.3	7.5	2.6	2.6
Personnel Expenses	0.1	0.14	–	–	–	–
	0.15	0.28	0.32	0.34	0.36	0.38
Utilities	0.05	0.14	–	–	–	–
	0	0.28	0.3	0.32	0.34	0.36
Travel Allowance and others	0.15	0.67	–	–	–	–
	0.16	1.28	1.28	1.28	1.28	0.84
Total	0.52	4.14	–	–	–	–
	0.46	7.99	10.25	13.74	12.33	14.78

Actual in June, 1996
Plan in the R/D

1996 Actual, Half of Year

1st day, December 7th 1995 (Thursday)		
Master of Ceremony (MOC)		Mr.Santi Rattanasuwan Director, Examination Division 1 of DIP
TIME		CONTENT
AM	10:00	Registration
	10:30~11:00	Opening Address by 1)Mr.Suchai Jaovisidha Director General of DIP 2)Mr.Eiryo Sumida Resident Representative of JICA Thailand Office
	11:00~12:00	Keynote Speech Japan's Cooperation Overview in the Field of Industrial Property for the ASEAN by Mr.Takao Hirosawa Director-General of JPO
PM	12:00~14:00	Lunch Break
	14:00~14:40	Industrial Property System in Thailand and Expectation for Industrial Property Information Center (IPIC) by Mr.Narongsak Pichayaphanich Deputy Director-General of DIP
	14:40~15:35	The Japanese Technical Cooperation for the Project on the Industrial Property Information Center in the Kingdom of Thailand 1) Outline of IPIC Project by Mr.Toranosuke Hashimoto Chief Advisor (Project Leader) of IPIC 2)The Present Status and Future Prospects of the Utilization of Industrial Property Information in the Kingdom of Thailand --- Utilization by the public --- by Mr.Hiroshi Niki JICA Expert to Thailand
	15:35~16:10	Industrial Property System in Indonesia by Mr.Seiji Suemasa JICA Expert from Indonesia
	16:10~16:45	Industrial Property System in Philippines by Mr.Keiichi Taguchi JICA Expert from Philippines
	17:00~19:00	Reception

2nd day, December 8th 1995 (Friday)		
Master of Ceremony (MOC)		Mr.Toranosuke Hashimoto Chief Adviser (Project Leader) of IPIC
TIME		CONTENT
AM		Panel Discussion Theme: Industrial Property System and Cooperation Request for Human Resources Development and Utilization of Information in the Field of Industrial Property Moderator: Mr.Santi Rattanasuwan, Director, Examination Division 1 of DIP Mr.Shigeo Takakura Director for International Cooperation of JPO Panelers: 1) THAILAND: Mr.Santi Rattanasuwan Director, Examination Division 1 of DIP 2) BRUNEI: Mr.Haji Husaimee Ahmad bin Haji Hussin Legal Officer, Attorney General's Chambers 3) INDONESIA: Mr.Supjan Suradimadja Acting Director General Copyrights, Patents and Trademarks 4) MALAYSIA: Mr.Zulkarnain Muhammad Patent Examinar, Intellectual Property Division, Ministry of Domestic Trade and Consumer Affairs 5) PHILIPPINES: Ms.Corazon T. Marqueses Senior Patent Information Officer, Bureau of Patents, Trademarks and Technology Transfer 6) SINGAPORE: Ms.Wendy Chee Mun Lin Assistant Registrar, Registrar of Trademarks & Patents 7) VIETNAM: Mr.Nguyen Cong The Deputy Director, Industrial Property Information and Documentation Center of NOIP
	09:30~11:00	Part I (Presentation)
	11:00~11:30	Coffee Break
	11:30~12:30	Part II (Discussion)
	12:30~13:00	Closing Address by Mr.Narongsak Pichayaphanich Deputy Director-General of DIP

*NUMBER OF ATTENDANTS: 86

Annex IX Annual Work Plan

TENTATIVE SCHEDULE in STEP 2

Attached NO 1.

	1996 Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	1997 Jan	Feb	Mar
GENERAL PLANING	Making basic plan		System development					Test & evaluation			Maintenance	
EVENT			◎JICA mission Jun.10-18				◎Visit to branch office ◎Training in Japan			◎IPIC seminar	◎Service to MOSTE	
HARDWARE			Decision of detailed specification					Hardware installation				
SOFTWARE	Registration software			System enhance			Release					
	Network retrieval software		Detailed design			System development			First Ver. Release		Second Ver. Release	
DATABASE					Making scanning plan		Training	Scanning work by outside manpower				
SHORT-TERM EXPERTS						Software engineer for installation Registration software						
							Software engineer for installation network retrieval First Ver.software					
									Software engineer for installation Second ver.software			
									Patent & Design examiners for examination cooperation			
LONG-TERM EXPERT												
TRAINING in JAPAN			Trainee request		Adjust & preparation		Training in Japan					
IPIC SEMINAR				Making basic plan		Preparation			Seminar Dec.15,20 Speaker from ASIAN P/O and JPO IPICsystem Demonstration			

Annex X

Joint Coordinating Committee

for

The Project on the Industrial Property Information Center

1/1996

Friday 29 th March 1996

At 10.00 A.M.

Conference Room at DIP

Thai Counterpart:

1. Mr. Narongsak Pitchayapanich	Deputy Director General (Chairman of Meeting)
2. Mr. Prasit Lisawad	Assistant Permanent Secretaries (Representative from Office of the Permanent Secretary)
3. Mr. Surat Tasnawijitwongs	Representative from DIP
4. Mr. Pichet Pentrakul	Representative from DIP
5. Ms. Arunee Jiwasakapimas	Representative from DIP
6. Ms. Onsiree Nuprom	Representative from DIP
7. Mr. Verasak Maiwattana	Representative from DIP
8. Ms. Varapom Walrasawat	Representative from MOSTE

Japanese Counterpart:

1. Mr. Toranosuke HASHIMOTO	Chief Adviser (Project Leader of IPIC)
2. Ms. Chieko MARUYAMA	JICA Coordinator
3. Mr. Shoji KUSANO	JICA Expert(Industrial Proper Information)
4. Mr. Hideyuki OKUNO	Computer System Expert
5. Mr. Yushi SAITO	Deputy Resident Representative, JICA
6. Mr. Thshio OGAWA	Assistant Resident Representative, JICA

Attendants:

1. Mr. Vararak Chansamart	Deputy Director General
2. Mrs.Phinich Mathurapote	Service & Information Division
3. Mr.Somsak Panichayakul	Registration & Document Division
4. Mr. Weerawit Weeraworawit	Technical & Planning Division
5. Mr. Chumpol Siriwanbud	DIP Official
6. Mr. Vichaya Wangpakapattanawong	DIP Official
7. Mr. Somsak Liengkaewpratum	DIP Official
8. Ms. Tharistree Poubpla	DIP Official
9. Ms. Ornsuang Sutiresakul	DIP Official

Absent:

1. Mr.Santi Rattanasuwan	Representative from DIP
2. Mrs Kwanjai Kunkamthon	Representative from DIP
3. Mr. Niphon Siriwat	Representative from DTEC

Start At: 10.00 P.M.

1. Opening Address

The Chairman of the Meeting mentioned the main purpose of IPIC Project.

If this project success, it would be useful to enhance the efficiency of examination of the patent and service for industry including development of Thai industry.

The Chairman concluded the duties of committee in this project as follows.

(1)To approve the progress of the project.

(2)To improve environment to achieve the purpose of the project.

(3)To exchange opinion for the best of the project.

2. Contents of discussion

(1) Project Progress

Mr. Hashimoto reported the progress of the last year. (1995-1996)

Everything had been completed without obstacle.

Mr. Surat reported that the Thai counterpart paid total amount of 120,000 baht for installation of equipment computer.

(2) The IPIC Project in 1990-1997 and Master plan of.

Mr. Hashimoto and Mr.Kusano informed the committee that IPIC project would extend its network to MOSTE. The preliminary survey had been done and no technical trouble was found. Therefore, it is possible to do so.

For the service of local areas , Mr. Hashimoto said that the project would extend the service to four provincial libraries of the Ministry of Commerce after 1997.

Mr. Prasit Lisawad, Assistant Permanent Secretaries, said that provincial libraries of the Ministry of Commerce is ready to cooperate with the IPIC project.

3. The Others

Nothing.

The Chairman closed the meeting and every committee member was invited demonstration of IPIC project.

Closed on 11.00 A.M.

Mr.Vichaya Wangpakapattanawong

(Secretary)

Mr.Surat Tasnawijitwong

(Minutes Examiner)

JICA